

■ 本県初の文学博士

根本 通明

ねもと つうめい

出身地 大仙市（旧西仙北町）

1822年（文政5年）～1906年（明治39年）

藩校^{はんこう}明德館^{めいとくかん}の教授・学長。維新^{いしん}後、東京^{ていこく}帝国大学教授として漢学・支那語学^{こうざ たんとう}第2講座を担当。秋田^{あき}易学^{えきがく}・明治易学^{めいしやうえきがく}の最高峰^{ほう}で、日・清^{にっ しん}の学会からユニークさを謳^{うた}われた。主著^{しゅちよ}に『周易象義^{しゅうえきしやう}弁正^{ぎ べんせい}』がある。



年 譜

- 1822年 大仙市^{にせんばん}（旧西仙北町）に生まれる。幼名^{ようめい}・周助^{しゅうすけ}。
- 1858年 明德館^{めいとくかん}教授。
- 1868年 明德館^{めいとくかん}学長。従軍^{じゅうぐん}、陣場^{じんば}奉行^{ぶぎよう}。翌年^{よくねん}、学士。
- 1874年 大蔵省^{きろくりやう}記録寮^{しゅつし}に出仕。翌年^{えんかく}、沿革誌^し編纂^{へんさん}取調^{とりしらべ}掛。
- 1883年 宮内省^{く ないしやう}御用掛^{ごようがかり}、斯文^{し ぶん}塾^{こう}教授。
- 1886年 明治天皇^{しゅうえき}に周易^{ご しんこう}を御進講。
- 1896年 帝国大学^{ていこく}文科大学教授。学士会員。
- 1899年 文学博士となる。
- 1901年 『周易象義^{しゅうえきしやう}辨正^{ぎ べんせい}』出版。根本^{ね もと}文学博士祝寿会^{しゅくじゅかい}。
- 1906年 東京都で没^{ぼつ}。84歳^{さい}。